

開催レポート

『第3回 関西留学生合同企業説明会』

開催日：2018年11月17日（土）

主催：一般社団法人 大阪活性化事業実行委員会

実施団体：関西留学生国際交流支援連絡会

代表理事 千田 忠司

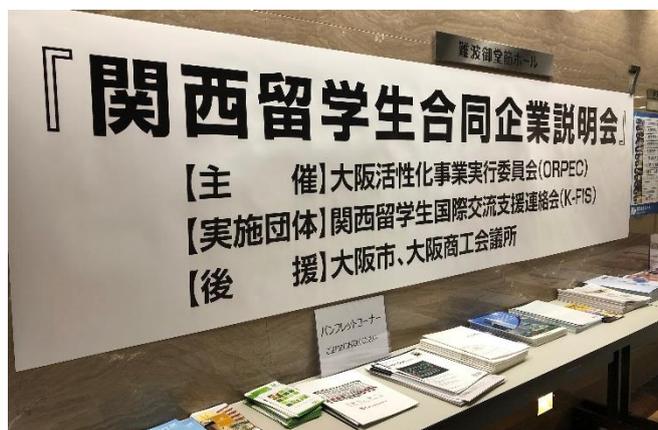
2018年11月29日

文責：連絡会事務局 村井広宣

Report No.007

第3回目となる、関西での就職を希望する留学生向け合同企業説明会を開催

11月17日（土）、『第3回関西留学生合同企業説明会』を難波御堂筋ホール（大阪市中央区）にて開催した。日本で就職を希望する留学生202名（既卒者も含む）と、留学生を積極的に採用している企業24社が集まった。



大学3年生から就職活動を始めると日本人学生の動きがある一方、学業に専念していた留学生の就職活動は、卒業前に本格化する傾向にある。大手企業での来春卒業予定の学生の採用活動は、すでに終わっているところが多い。また、ここ大阪には、世界に誇る優良な中小企業が多く、海外進出やインバウンド対策のために留学生を採用したいと考えているものの、なかなか留学生に企業について知ってもらう機会が少ないのが現状だ。

そういった、留学生と大阪の優良企業の就職マッチングを促進していくため、本会は年2回の合同企業説明会を開催している。今回は、本年4月の開催に続く第3回目の開催となった。

今回は、出展企業40社の募集に対し、23社、1団体からの出展申し込みがあった。会員企業様からのご紹介にて、金融機関、製造業、サービス業、人材業の5社が初出展した。特に、金融機関への就職を希望する留学生も多くいることから、金融機関の出展が待望されている。今回、本会初の金融機関の出展は、留学生の集客にもつながった。

日本で就職を希望する留学生202名と留学生を積極的に採用している企業24社が集合！

【出展企業入場と出展企業様向け説明会】

開場に先駆け、11時より出展企業様の入場受付を開始した。出展企業のご担当様は各々のブース設営に取り掛かった。回を重ねるごとに、各企業様のブース装飾も豪華になっている。前回の合同企業説明会開催後の反省として挙がっていた、「留学生が一目見て何をしている会社分かるようにする」ことへの対策として、事業内容が一目で分かる大きなパネルや垂れ幕を掲げている企業が多かった。それにより、開場全体は、前回に増してより華やかな印象となった。

11時30分より、出展企業様向けに、当日の注意事項などを伝える説明会を開催した。当日のタイムスケジュール、諸注意事項などを、本会事務局長の村井が説明した。「どのブースに行くか迷っている留学生にも、積極的に留学生にお声がけいただき、会社について説明いただきたい」と、出展企業様へお願いがあった。



関西留学生国際交流支援連絡会
事務局長 村井広宣氏



学校法人エール学園 キャリア支援室
室長 西村康司氏

また、本会へ学校参与いただいている、学校法人エール学園 キャリア支援室 室長の西村康司様よりご挨拶いただいた。

「これまで7、8年、留学生の就職指導に関わって見てきたのは、留学生は秋から就職活動を開始するということです。良い学生はまだ残っております。ぜひとも多くの留学生へ企業説明とご交流をいただき、来年の採用につなげていただきたいと思います。」と述べた。

【留学生の入場受付開始】

今回の事前申込では、中国、ベトナムに次いでネパール人留学生からの申込が多かった。そこで、当日の受付には中国、台湾、ベトナム、ネパール出身の留学生アルバイトを通訳・案内係として配置した。日本語で理解できない留学生へは、各言語での案内が行われた。

また今後、留学生と日本人学生との交流で、留学生の社会参加を促進していくため、英語が堪能な日本人学生も受付を手伝った。



13時の開場に向け、12時30分より留学生の受付を開始。受付を済ませた留学生は、『休憩スペース』で企業情報が載ったパンフレットを熟読し、訪問するブースを検討していた。

来春の卒業を前に、日本で必ず就職したいと意気込む留学生の賢明さが休憩スペースに広がっていた。企業ブースエリアにいた出展企業担当者の方々も、はやる気持ちを抑えて、留学生の訪問を待ちわびていた。

13時の開場前に、すでに30名以上の留学生が受付を済ませ、開場を待っていた。13時の開場とともに、留学生が一気に企業ブースへ進んでいった。



【法政顧問からの応援メッセージ】

合同企業説明会開催に向け、本会に係る多くの関係者も応援に駆けつけてくださった。来賓を代表し、本会法政顧問の参議院議員 石川ひろたか氏にご挨拶いただいた。

石川氏は「国会では、入管法改正案が審議されている。この法改正によって、経験や技術を持った優秀な外国人の方々にお越しいただき、日本の活力を生み出してほしい。外国人の方々との協力しながら日本社会を発展させていくため、今後も多くの外国人の方々に活躍できる場を広げていきたいと考えております。」と述べ、出展された企業様のご協力に対して感謝の意を述べた。



公明党 参議院議員 石川ひろたか氏

今後、大阪では万博の開催や統合型リゾート（IR）施設の創設によるインバウンドの増加が見込まれている。留学生を始めとする国際人材の活躍が期待される。

【ついに企業ブースエリアが開場】



13時の企業ブースエリア開場とともに、留学生たちのブース訪問が開始。訪問するブースを決めている留学生は、一目散に目当てのブースへと進んでいった。中には、今回初めて合同企業説明会に参加する留学生もあり、最初は恐る恐るブースへ近づいていた。

次第に各ブースに用意された留学生用の席は満席になり、立ったまま話を聞く学生も見られた。

企業の方々は、留学生へ会社のことや仕事内容を説明するだけでなく、各留学生がどんなことをしたいのか、どういったことを学んできたのかといった質問もされていた。

緊張の面持ちでブースを訪問していた留学生であったが、大阪ならではの笑いあいの説明によって、笑顔もこぼれる和やかな雰囲気での説明が行われている様子もあった。



ブース担当者の笑いあいのトークに留学生からも笑顔が出た



企業の方々も積極的に留学生に声をかけていた

休憩スペースで、ブースを考えたり、訪問した企業の資料を読んだりする留学生への、企業ブース担当者からの積極的な声掛けも行われていた。

留学生は、「外国人社員がブースにいと、親しみやすさを感じる」そうだ。また、「留学生の母国語で説明や会話ができると、安心感もある」との意見があった。



また、今回も就活相談コーナーを設け、学校法人エール学園 キャリア支援室 室長の西村康司氏にご担当いただいた。これまでのご経験と知識を活かし、留学生からの質問にお答えいただいた。

「転職活動中の方からの在留資格の変更許可申請についての質問が難しかったが、こちらは大変勉強になった」との感想をいただいた。



【事務局あとがき】

今回は、ヨーロッパ諸国やアフリカ地域からの参加者も多く、本会に登録している留学生の多様化が見られました。しかし、一部留学生は、研究のため日本語学習の時間が作れなかったり、英語のみで学位取得できるコースにいるため、大変優秀ではあるものの日本語能力が低い学生も多くいらっしゃいました。今後、本会では日本語能力が低い方にも日本での就職活動を伝えていくセミナー等を企画して参りたいと考えております。

次回も、より多くの企業様にご出展いただきたいと考えております。また、特定の分野を学んだり、特定の国への進出のために出身国を指定していたりといった求人もいただいております。今後は、学校との連携を強め、多様な留学生が大阪で就職し、大阪の地域経済活性に貢献して参ります。

今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

プログラム催事録

名 称： 第三回『関西留学生合同企業説明会』
 開催日時： 2018年11月17日（土）13:00～17:00
 開催場所： 難波御堂筋ホール7階
 〒542-0076 大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング
 主 催： 一般社団法人 大阪活性化事業実行委員会（ORPEC）
 実施団体： 関西留学生国際交流支援連絡会（K-FIS）
 後 援： 大阪市、大阪商工会議所
 参加者： 316名 以下内訳

カテゴリー	適 応	人数
出展企業	説明会ブース 出展企業	65名
商店会関係	受益者を統括する団体・組合 など	5名
企業・法人関係	受益者となる企業・法人団体 など	18名
大学・学校法人関係	人材の供給窓口となる法人団体 など	12名
留学生	大学・領事館推薦の留学生 など	202名
行政・経済団体	市役所・商工会議所 など	7名
事業顧問	法政の立場からの意見者及び指導者	5名
メディア	有益な公的情報提供者	2名
合計		316名

留学生種別

学校種別	主な学校名	人数
国公立	大阪大学、京都大学、神戸大学、奈良女子大学 他 計10校	30名
私立	近畿大学、大阪産業大学、関西学院大学、神戸情報大学院大学 他 計25校	78名
海外	ベトナム、アメリカ、イギリス、バングラデシュ、トルコ 他 計7校	27名
専門学校	エール学園、ECC国際外語専門学校、大阪バイオメディカル専門学校 他 計18校	66名
不明		1名
合計		202名